

現象学

2017 年本試

問 8 代表的な現象学者の考えの説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① メルロ=ポンティによれば、人間は気がつけば既にこの世界に投げ出されている。現象学は、この根本事実に基づいて、誕生とともに死へと向かう存在としての人間を分析する学問的営為である。
- ② フッサールによれば、実在すると私たちが素朴にみなしているものは、私たちの意識との関わりにおいて存在している。現象学は、意識にあらわれる現象をありのままに記述する学問的営為である。
- ③ メルロ=ポンティによれば、世界には何らの意味も目的もなく、一切は偶然に存在している。現象学は、そうした不条理な世界のなかにあっても人生の価値を問いながら真摯に生きることを目指す立場である。
- ④ フッサールによれば、自然的態度において人は世界の存在を信じている。現象学は、そうした自明な判断を括弧に入れることによって、あらゆる物事の妥当性を懐疑して、学問の絶対的确实性を否定する立場である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 8	36	②	3

2016 年追試

問 8 次のメルロ=ポンティの文章を読み、その内容の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

この部分につきましては
著作権処理中の為
現在公開できません

(『知覚の現象学』より)

- ① 私と他者は、意図や感情をそのまま共有するわけではない。しかし、私は他者を、はじめから身体的に自分と同型の存在として体感しており、他者の意図や感情を知覚することができる。
- ② 私と他者は、別々の身体をもっているため、幼児期には互いに分かり合うことができない。しかし、成人になると、言語や共感を通して互いを知覚することで、一体化できるようになる。
- ③ 私と他者は、意図や感情をそのまま共有することができる。特に、悲しみや怒りなどの強い感情は、外からみても明らかに知覚できるため、おのずと思いをともにすることができる。
- ④ 私と他者は、幼児期には同じ構造の身体をもっているのに、心の状態に区別がない。成人になると、身体の構造に違いができるため、他者の意図や感情を推測することしかできなくなる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 8	36	①	3

2015 年追試

問 2 現象については、様々な思想家が考察を行った。その一人であるフッサールについての説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 地上から天空に至るまで、すべての自然現象を、万有引力の法則によって統一的に説明することで、近代的な自然哲学を構築した。
- ② 物的なものには現象にすぎないが、その基礎にある真の原子は私たちの心がそうであるような単純な実体であると考え、それをモナドと呼んだ。
- ③ 現象の認識とは、感覚を受容する感性と、概念を形成する悟性によって成り立つと説明し、それは物自体を捉えるものではないと主張した。
- ④ 事物の實在に関する判断を差し控えるエポケーによって、意識に現れる現象を、ありのままに記述し考察する学問を確立した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 2	30	④	2

2012 年本試

問 7 フッサールの思想の記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① 人間は自己の在り方を自由に選択するため，実存が本質に先立つ。
- ② 事物は知覚と独立には存在せず，存在するとは知覚されることである。
- ③ 言語の限界を超える語り得ぬものについては，沈黙せねばならない。
- ④ 自然的態度を変更し，判断中止を行うことが必要である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	28	④	2